

BIG WOOD.CO

ビッグウッド・ドイツ犬舎 Big wood.co Germany 設立!



ドイツ私記

ドイツで頑張っております。
ドイツへ来て、早4ヶ月が経とうとしています。ビザや運転免許の許可申請なども無事に終わり、やっと落ち着いた所です。

私は、去年レディーという一頭の貴重な犬を亡くしました。ショックを通り過ぎ、気が変になりそうでした。凶報を聞いた時は、何かの間違いであろうと耳を疑いましたが、まもなくそれが現実の事と知るのに、あまり時間はかかりませんでした。

レディーの購入に踏み切った理由は、柿木さんからの依頼で、中国から買い手が来ているのだけど、繁殖に貴重な犬なので日本犬界のために、私は是非持つて欲しいという内容でした。

私は、二つ返事で何も迷うことなく柿木さんを信用して、持たせていただいた事を記憶しています。

何せ、シェパードについてまったくの素人でしたので、様々なことについて学ばせていただきました。

その中で、私が特に気になった点は、日本における繁殖認定でした。シュツツ（IPO）の訓練資格認定がWUSVに加盟している日本で唯一の二団体はそれぞれのそれぞれの協会では試験認定できない事を知らされ、合わせて繁殖認定も取得できない事実を知りました。

それから、その後、繁殖認定を取れない犬の子供はドイツでのジガーショーではVAの資格が取れない事実も知る事となり、私としては、良い子孫を繁殖し、日本の仲間と共に日本で繁殖した犬が日の丸を背負って世界の檜舞台であるジガーショーでVAを取得できるようになる事を夢見ての取り組みでしたので、そんな事実を知ってしまった、大きなショックでした。

ある時、レディーの繁殖認定を取る為に渡独を考えていた時、韓国・WUSVの公認ジャッジが来る事を知り、その時にレディーの繁殖認定も取れるという事を教えていただいたので、韓国の方が断然近いし、犬に負担がかからないという理由からレディーを韓国へ送る決心をしました。

その時、レディーは帰らぬ犬となってしまうのですが、生あるものですし、レディーを取り巻く人々は一様に皆、一所懸命に尽くしてくれたと信じています。誰が悪いのではなく、誰を責めることもできません。

ただし、残念で成らない事はWUSVの日本公認協会である2つの団体に、以前から話しの上だけですが、お願いしていた国内でのシュツツ（IPO）の試験認定と繁殖認定をWUSVに準じて行ってくれさえしていれば、犬に大きなストレスや負担を掛けずに繁殖認定が取得できたのにと、今でも考えると自分の無力さに腹が立ちます。

その反動もあって、私の他の犬、ティーフア、フィニーならびにその子犬達には、レディーと同じあやまちを繰り返したくないという想いから、この度、訓練資格や繁殖認定を取得する為に、渡独を決意しました。

是非とも、近い将来日本のシェパード犬協会におかれましても、WUSVの公認団体らしい、WUSVに認めてもらえる訓練資格や繁殖資格の認定試験を實行していただきたいと切に願うばかりです。

犬が居ての愛犬家ですし、犬を中心に考える人々の集まりが協会だと思えます。犬になるべく負担のからない方法で、訓練競技会や展覧会が実行され、より良い犬の健全繁殖が出来る環境が日本にも出来る事を期待しています。

大木 政春

